

## あ　と　が　き

牧園町郷土誌は、昭和四十四年に発刊されていますが、残部が全然なく、要望も多いので町制四十周年を機会に、時代のすう勢に伴う十年間の増補とともに、改訂してくれとの依頼をうけ、第一回の委員会を開催し、編纂方針資料収集など基本的なことを協議したのが、昭和五十四年七月二十七日でありました。

改訂にあたっては、既刊誌の分析・究明から始めましたが、何分、町内に資料となるべき古文書・その他の資料絶無の中で編集された郷土誌であり、内容の検討はもっぱら県立図書館の図書にたより、また、町内関係の分は実地踏査と共に、新しい資料発掘に、毎月四・五回の会を開き、郷土誌研究家の、窪田委員を中心に研究討議を重ね、既刊誌の検討を終ったのが五十五年一月でした。

既刊誌を検討しながら、終始敬服したことは、資料の乏しい中で、前郷土誌編集委員の方達が、いかに難儀苦労されて編集されたか、その並々ならぬ努力による偉大な足跡でありました。

既刊郷土誌を基盤にして、いよいよ二月から改訂執筆に着手、全原稿の読み合わせを終ったのが、十二月二十四日でありました。

委員は各校区より一名、計六名でしたが、一人病気のため五人で発足、更に五十五年八月、広山武一委員が他界され、編集スタッフにとっては大きな痛手でありました。後任として、須崎委員が参画してくださいましたが、最終段階における追い込み作業の中で、たいへんな苦労をかけたと思っております。

ここに、何とか郷土誌の改訂を終りましたが、多くの不備・不足のあることは否定できません。しかし、わたしたち委員五名は、全精魂を打ち込んで努力してきたつもりであります。この郷土誌が、町民みなさんの、郷土への愛着と誇りと理解を深め、明日への町勢発展の資となるなら、望外の喜びとするところであります。

最後に、本町出土の縄文土器の調査にあたり、県教育庁文化課の、新東晃一先生に懇切な御教示を頂いたことに対し、衷心より感謝申し上げますと共に、資料提供に全面的に協力くださった各位に、厚くお礼申し上げます。

◆編集委員 窪田仲市郎（近世・近代）。高橋才二（社会）。前田俊明（経済・神社仏閣）。須崎春男（教育文化・観光・史蹟）。今別府元（地誌・原始古代・中世・政治）。写真（企画課・中塩学）

◆教育委員会事務局 教育長 佐藤三郎

社会教育課長 吉原幸雄 係 小野郁子

## 牧園町温泉年表（抜萃）

西暦	年 号	事 項	西暦	年 号	事 項
1142	康治 1	安楽温泉発見。	1832	天保 3	関平温泉発見。
1624	寛永 1	明ばん温泉発見。	1850	嘉永 3	山の湯温泉発見。
1688	元禄 1	鉾投温泉～新納久辰 増築。	1862	文久 2	栗川温泉発見。
1710	宝永 7	殿湯温泉発見（享保 の頃ともいう）。	1865	慶応 1	横瀬温泉発見。
1714	正徳 4	硫黄谷温泉発見。	1875	明治 8	新湯温泉発見。
1740	元文 5	大良温泉発見。	1880	〃 13	湯ノ谷温泉発見。
1744	延享 1	栄之尾温泉発見。	1880	〃 13	妙見温泉(13年以前?)
1752	宝暦 2	折橋温泉発見。	1901	〃 34	間手原温泉発見。
1806	文化 3	塩浸温泉発見。	1905	〃 38	ラムネ温泉発見。
1811	〃 8	日の出温泉発見。	1913	大正 2	野ノ湯（浅田商会）
1819	文政 2	丸尾温泉発見。	1929	昭和 4	林田温泉発見。
			その他、金湯（明治初・中期頃） 銀湯、塩湯、新川、和気湯等、不詳		

年 表

西暦	年 号	事 項
1971	昭和 46	大型農道起工。台風19号による大災害発生。死者7人 被害総額9億4,000万円。
1972	〃 47	国民休養地建設始まる。国体開催に伴い本町で体力医学会 開催。町政週報発行。し尿処理場（牧園・横川町衛生管理 組合）開設（宿窪田）。鹿兒島空港（溝辺）開港。
1973	〃 48	土地開発公社発足本町加入。国分北消防署（高千穂小谷） 開設。国民休養地開設。文化財保護運動発足。大霧開拓団 25周年記念式。
1974	〃 49	第1回霧島競馬（牧園牧場）開催。
1976	〃 51	各校区に公民館組織完成。住民生活相談室スタート。 関平温泉の施設その他一切が完全に町有となる。
1977	〃 52	町文化協会発足。九面太鼓神宮奉納で初登場。 広域農道牧園～栗野間開通。第11回全日本高校馬術競技大 会（牧園牧場）に常陸宮殿下御来町。馬込地区の甌穴群、 曾我どん墓（宝きょう印塔）を町文化財に指定。
1978	〃 53	北始良清掃センター竣工操業開始（万膳）。雇傭促進 住 宅 牧園宿舎竣工（高千穂）。中津川小学校屋内体育館落成。県 農村センター農業大学校となる。
1979	〃 54	牧園町老人福祉センター完成（宿窪田）。三体小学校 屋 内 体育館落成。高千穂授産所閉鎖。農村婦人の家 竣 工 発 足 （万膳）。伊佐・北始良火葬場（菱刈）管理組合に本町加入 発足。
1980	〃 55	牧園町総合振興計画策定。万膳小学校屋内体育館落成。 生活改善センター落成発足（三体堂）。持松小学校屋 内 体 育館起工式。B・G財団牧園海洋センター落成発足（高千 穂）。町制40周年記念祭（町民憲章、町民歌、まきぞの 音 頭発表）。
1981	〃 56	持松校区公民館落成（持松）。高千穂校区自治公民館 区 域 編成替。（4地区を8地区に編成。）

西暦	年 号	事 項
1934	昭和 9	霧島国立公園指定さる。 <u>塩浸発電所送電開始。</u>
1935	〃 10	<u>天皇陛下行幸さる。</u>
1937	〃 12	日華事変。
1939	〃 14	第二次世界大戦。
1940	〃 15	牧園町制施行。 <u>町観光協会発足。</u> 町商工会発足。
1941	〃 16	太平洋戦争開戦。町森林組合設立。
1942	〃 17	持松、笹段～霧島間道路開通。
1945	〃 20	空襲により <u>牧園駅前戦災。</u> 太平洋戦争終戦。 県立加治木中・女学校牧園分校開設。米海兵隊鹿児島市進駐。
1946	〃 21	<u>和氣神社建立なる</u> （中津川犬飼）。桜島噴火。
1947	〃 22	下中津川飛地を大字高千穂とする。 各校区に新制中学校創立。初の知事・市町村長公選。
1948	〃 23	県立加治木高校分校（全日制）に新たに町立定時制牧園高校を併設。町農業協同組合設立。町農業共済組合独立。
1949	〃 24	加治木高校牧園分校。県立牧園高校として独立。 <u>ジュディス台風により旧硫黄谷温泉全壊。</u> 国立鹿大発足。
1950	〃 25	農林省鹿児島種馬所廃止～ <u>牧園町営牧場</u> として経営開始。 総合運動場起工。町上水道工事着工。
1952	〃 27	定時制牧園高校農業科を畜産科に改む。町営住宅建設着工。
1953	〃 28	町営牧場軽種馬育成開始。中津川地区水道施設竣工。
1954	〃 29	牧園高校講堂落成。持松・三体・万膳・高千穂の各中学校独立校となる。新湯災害発生（台風5号）死者9名。
1955	〃 30	関平温泉の泉源を町有に払下げ。町奨学資金制度発足。
1956	〃 31	万膳地区・牧園地区水道施設竣工。桜島大爆発。
1957	〃 32	町営牧場、緬羊70頭購入。鹿児島市鴨池空港開港。
1959	〃 34	新燃岳爆発。条例改正により議員数20名とす。
1960	〃 35	農村センター創設。町章決定。国民健康保険制度発足。 町制20周年記念事業。町広報1号発行。町商工会発足。
1961	〃 36	国民年金制度発足。町体協発足。霧島スカイライン開通。
1962	〃 37	牧園駅を「霧島西口駅」と改名。有線放送開始。 皇太子御夫妻御来町林田に一泊さる。
1964	〃 39	霧島・屋久国立公園と改称。
1966	〃 41	牧園高校畜産科募集停止。カラーテレビ本放送開始。
1967	〃 42	宿窪田～安楽間バイパス開通。
1969	〃 44	牧園高校畜産科最終卒業式。町内中学校6校を統合し牧園中学校発足。中学校跡に役場移転。 小浜町（長崎県）霧島町・牧園町三町姉妹盟約。
1970	〃 45	町総合振興計画樹立。町制30周年。

年 表

西暦	年 号	事 項
1871	明治 4	踊（牧園）は都城県に編入。郡長・戸長をおく。 外城常備隊解散。
1873	〃 6	美々津、都城県廃止。踊（牧園）鹿児島県となる。第25郷校発足。
1875	〃 8	新湯温泉発見。踊郵便所創始。
1877	〃 10	西南の役。
1880	〃 13	霧島山噴火（御鉢爆発）。県会議員選挙。
1883	〃 16	宿窪田・三体・万膳。 と 下中津川・上中津川・持松。 } の二か村に分かる。
1884	〃 17	浅谷用水路竣工。
1888	〃 21	霧島山噴火（降灰4.5里に及ぶ）。
1889	〃 22	町村制実施。踊郷を牧園村と改め、宿窪田以下六か村を大字に改め、村役場をおく。霧島山噴火（霽激雷の如し…）。
1890	〃 23	衆議院選挙。第1回帝国議会。教育勅語発布。
1891	〃 24	霧島山噴火（降灰のため草木凋枯す）。
1894	〃 27	清国に対し宣戦布告～至95年。
1895	〃 28	霧島山噴火（家屋22軒、4人惨死）。
1896	〃 29	国立種馬牧場牧園村に開設。桑原郡、始良郡となる。 霧島山噴火。
1897	〃 30	八代・鹿児島間鉄道敷設起工。
1898	〃 31	霧島山噴火（宮崎・松山・高知にて爆音を聞く）。
1900	〃 33	同 上 （5名の死傷者あり）
1901	〃 34	間手原温泉（間手原）発見。鹿児島・国分間鉄道開通。
1903	〃 36	国分・吉松鉄道開通。製材所浅谷に開設。
1904	〃 37	日露戦争～至1905年。
1905	〃 38	ラムネ温泉発見。霧島山噴火。
1907	〃 40	鹿児島種馬所と改称（高千穂）。
1908	〃 41	牧園駅営業開始。義務教育4年から6年へ延長。
1909	〃 42	八代・鹿児島間鉄道全線開通。
1913	大正 2	霧島山噴火。
1914	〃 3	霧島山噴火（1月8日）。桜島大爆発（1月12日）。
1916	〃 5	水力発電工事始。第一次世界大戦。
1921	〃 10	妙見発電所送電開始。
1923	〃 12	ノカイドウ。天然記念物に指定さる。
1924	〃 13	小作争議（清水・国分・東襲山）。
1927	昭和 2	鹿児島線を肥薩線と改む。
1929	〃 4	林田温泉発見。与謝野夫妻霧島来訪。
1931	〃 6	満州事変おこる。

西暦	年 号	事 項
1753	宝暦 3	木曾川治水工事手伝の幕命をうける。
1755	" 5	木曾川治水工事完成。
1762	" 12	<u>中津川小前の田の神。</u>
1767	明和 4	<u>板碑（三休堂・永岩下の田の畦）。</u>
1768	" 5	7年間の嚴重儉約を達せらる。
1769	" 6	<u>栗川の田の神。</u>
1771	" 8	霧島山噴火（降灰数里の田埋没。草木焦枯る）。 <u>聖神社（横瀬）創建。</u>
1774	安永 3	再度の7年間の儉約を達せらる。
1775	" 4	<u>石敢当（持松甲辺）碑銘。</u>
1779	" 8	<u>玄竜寺墓石銘。</u> 桜島噴火死者150人余。潰家500戸。
1780	" 9	外城衆中を郷土と改む。
1787	天明 7	<u>玄竜寺墓石銘。</u> 重豪隠居、斉宣襲封。
1793	寛政 5	成形図説編集はじまる（重豪白尾国柱に命ず）。
1800	" 12	浜之市（隼人）新田竣工。
1805	文化 2	<u>温泉神社（安楽）境内石碑銘。</u>
1806	" 3	<u>塩浸温泉発見。</u>
1809	" 6	斉宣隠居、斉興襲封。
1811	" 8	<u>日の出温泉発見（文政3年ともいう）。</u>
1814	" 11	<u>田原の田の神。</u>
1815	" 12	<u>田の神像（横瀬）。水神（城ヶ後）碑銘。</u>
1819	文政 2	<u>丸尾温泉発見。</u>
1821	" 4	霧島山噴火（中岳の絶頂より発火……）。
1823	" 6	<u>花林長春（東郷源七郎の姉）墓碑銘。</u>
1825	" 8	阿久根郷土、宇治に赴き製茶法伝習、阿久根茶を名産とす。
1832	天保 3	<u>関平温泉発見。</u>
1843	" 14	三国名勝図会60巻成る。
1850	嘉永 3	<u>山之湯温泉発見。</u>
1851	" 4	斉興隠居、斉彬公襲封。
1853	" 6	ペリー来航。
1858	安政 5	斉彬没、忠徳（忠義）襲封。
1860	万延 1	桜田門外の変。有村治左門参加。
1862	文久 2	<u>栗川温泉（高千穂）発見。</u> 寺田屋事件。生麦事件。
1865	慶応 1	<u>横瀬温泉発見（上中津川）。</u>
1866	" 2	<u>坂本竜馬夫妻塩浸温泉に湯治。犬飼滝など訪れる。</u>
1867	" 3	王政復古。大政奉還。
1869	明治 2	常備隊をおく。版籍奉還。
1871	" 4	廃藩置県。踊郷正則学校発足。

年 表

西暦	年 号	事 項
1640	寛永 17	山ヶ野金山発見。
1659	万治 2	霧島山噴火～1661年に至る。
1662	寛文 2	<u>同 上～1664年に至る。</u>
1663	〃 3	加治木西別府川工事、新田開発。
1666	〃 6	飯富神社境内、奉寄進石碑銘。国分市新田高500石開発(新川による)。
1667	〃 7	<u>水神(下中津川荒田橋) 碑銘。</u>
1668	〃 8	<u>伊邪那岐神社境内の仁王像銘。</u>
1677	延宝 5	<u>霧島山噴火～翌年までつづく。</u>
1687	貞享 4	光久隠居、孫綱貴嗣ぐ。
1688	元禄 1	<u>鉾投温泉(三体堂)新納久辰増築。</u>
1690	〃 3	<u>霧島山噴火(降灰数日に及ぶ)。</u>
1693	〃 6	<u>板碑(三体堂さん角堂下) 銘。</u> 鹿児島に大雨洪水。
1696	〃 9	鹿児島に大火、城の本丸以下焼失。
1705	宝永 2	<u>霧島山噴火(神社塔焼失)。</u>
1707	〃 4	<u>玄竜寺墓地墓石銘(三体堂)。</u>
1709	〃 6	<u>同 上</u>
1710	〃 7	<u>殿湯温泉発見(享保の頃ともいう)(高千穂)。</u>
1714	正徳 4	<u>硫黄谷温泉発見(高千穂)。</u>
1715	〃 5	<u>飯富神社境内、山の神碑銘。</u>
1716	享保 1	<u>霧島山噴火(降灰田畑埋没)。</u> 東郷源七郎墓舍利塔碑銘。 <u>荒神さあ(犬飼、満田氏宅庭) 碑銘。</u>
1717	〃 2	<u>霧島山噴火(田畑埋没)。</u>
1721	〃 6	吉貴隠居、継豊嗣ぐ。
1727	〃 12	諸外城飢饉、葛などを食料とする。
1728	〃 13	<u>東光寺墓石銘(役場前)。</u> 前年来飢饉。 <u>板碑(宇都口・上井宅上の山林) 銘。</u>
1732	〃 17	西国筋一帯飢饉。薩摩は甘藷があるため飢民なし。
1735	〃 20	<u>田の神像(堅神社境内)持松。(県内で10位、町内の田の神像中一番古い。)</u>
1736	元文 1	琉球より孟宗竹2本送られ、磯別邸に植栽さる。
1740	〃 5	<u>太良温泉発見(万膳)。</u>
1742	寛保 2	<u>墓石銘(三体宇都口、松田方前の田)。</u>
1744	延享 1	<u>栄之尾温泉発見(高千穂)。</u>
1746	〃 3	島津継豊隠居、宗信襲封。
1749	寛延 2	水手屋敷1畝に付、棕櫚1本植付と定めらる。
1750	〃 3	<u>玄竜寺墓石銘。</u>
1752	宝暦 2	<u>折橋温泉発見。</u>



西暦	年 号	事 項
1566	永禄 9	霧島山噴火。義久、守護職をつぐ。
1567	〃 10	<u>義弘、踊を領す。</u>
1569	〃 12	<u>義久、肝付兼盛に上三体堂を加封。</u>
1572	元亀 3	木崎原の戦、義弘、伊藤兵を破る。
1573	天正 1	<u>肝付兼盛踊を領す。</u>
1574	〃 2	霧島山噴火。(天地震動す……)
1576	〃 4	<u>同 上(4年より6年に至り炎す)</u>
1582	〃 10	温泉神社修理(肝付弾正修理)。
1584	〃 12	家久、肥前有馬氏と竜造寺氏の兵と島原に戦い、竜造寺隆信を斃す。
1586	〃 14	肝付兼寛、踊(牧園)を領す。島津氏、九州制覇。
1587	〃 15	霧島山噴火。秀吉、出水に入る。島津氏秀吉に降る。
1588	〃 16	<u>同 上(申酉の間大地震)</u>
1590	〃 18	秀吉全国平定。義弘飯野より栗野松尾城へ移る。
1592	文禄 1	文禄の役。義弘、栗野から出陣。
1595	〃 4	肝付兼三(三体堂領)を薩摩喜入に移す。義弘、栗野より帖佐に移る。薩・隅・日の文禄検地(石田三成)終る。 <u>福永助十郎(田原)朝鮮の役にて虎狩り。</u>
1598	慶長 3	霧島山噴火(5年に至る)。秀吉死去。征明軍撤退開始。
1600	〃 5	関が原の役。
1602	〃 7	<u>津曲氏、噺として高山より来郷。家康薩・隅・日所領安堵</u>
1606	〃 11	島津忠恒、家久と改名。国分梅木に煙草試植(服部宗重)。
1607	〃 12	義弘、平松より加治木に移住。
1613	〃 18	<u>霧島山噴火(翌年までつづく)。</u>
1614	〃 19	<u>東郷源七郎忠直、三体堂村に移る。</u>
1615	元和 1	<u>霧島山噴火。一国一城の制定まる。</u>
1617	〃 3	<u>同 上(翌年までつづく)。</u>
1620	〃 6	<u>島津家久、源七郎忠直に三体堂村714石の地を与う。</u>
1621	〃 7	<u>東郷源七郎墓石銘(田原)。</u>
1623	〃 9	<u>持松村を踊郷に合併。</u>
1624	寛永 1	<u>明ばん温泉発見(高千穂)。</u> <u>家久、新納四郎忠直に三体堂村を与う～至43年。</u>
1627	〃 4	県下の田虫害あり、翌年にかけて飢饉となる。
1628	〃 5	<u>霧島山噴火(社寺宝物焼亡)。</u>
1632	〃 9	はじめて一向宗改めをなし、日向高原その他諸所の門徒を処分する。
1635	〃 12	牛馬改めをし、牛馬札交付さる。
1636	〃 13	<u>玄竜寺跡(三体堂音川山)墓石銘。加治木銭鑄造をやめる。</u>

年 表

西暦	年 号	事 項
1281	弘安 4	蒙古軍来襲（弘安の役）。
1333	元弘 3	鎌倉幕府滅亡。
1334	建武 1	建武の新政。島津貞久、大隅国守護職に補せらる。
1335	〃 2	横川町赤水の岩戸観音造立。この頃真幸院は日下部氏より北原氏へ。
1338	延元 3	足利尊氏幕府創設。
1339	〃 4	栗野稲葉崎黄金塔建立。
1362	正平 17	臼崎（持松）の宝塔。曾我どん墓（三体堂中福良）宝きょう印塔（康安2年）。
1363	〃 18	島津師久（総州家）は薩摩国守護。島津氏久（奥州家）は大隅国守護。
1392	元中 9	南北朝合一。
1404	応永 11	幕府、島津元久を日向・大隅の守護に補する。
1409	〃 16	元久、薩摩守護職に補せらる。
1425	応永 32	島津忠国、薩・隅・日三国の守護職に補せらる。
1437	永享 9	伊邪那岐神社（妙見神社）税所介敦武建立。税所氏、踊を領す（永享中）。
1467	応仁 1	応仁の乱起る。
1483	文明 15	税所氏の没落。
1510	永正 7	このころ以降、薩隅日三国おおいに乱れる。
1521	大永 1	臼崎・持松、樺山長久（北郷資忠二男）所領。
1524	〃 4	霧島山噴火。
1526	〃 6	北原氏、踊（牧園）を領す。
1527	〃 7	勝久、貴久に家督をゆずる。
1528	享禄 1	北原氏の最盛期、栗野・横川・踊（牧園）北原氏領す。
1535	天文 4	北原兼守、踊（牧園）の領主。
1542	〃 11	島津忠良・貴久、北原祐兼と結ぶ。
1543	〃 12	鉄砲伝来（種子島）。
1549	〃 18	キリスト教伝来。世戸ロ・持松、北郷忠相所領。
1550	〃 19	北原兼親、踊（牧園）の領主。島津貴久、鹿児島城に入る。
1551	〃 20	下石坂甚介氏（石坂）先祖位牌銘。
1552	〃 21	堅神社（持松）、北郷忠相・忠親建立。
1554	〃 23	霧島山噴火。島津貴久、岩剣城攻囲、この合戦に島津軍鉄砲を使用し岩剣城落城。
1562	永禄 5	このころ北原氏に内訌あり。踊城（牧園）主白坂佐渡介、島津氏に降る。菱刈隆秋、島津氏に帰服横川城を与えらる。
1563	〃 6	貴久、伊藤氏と戦い敗北。
1564	〃 7	義弘、加久藤、飯野に鎮し、夫人を加久藤におく。

西暦	年 号	事 項
730	天平 2	大隅・薩摩の百姓未だ班田せず、旧に従って墾田を許す。
740	〃 12	藤原広嗣の乱に隼人軍先鋒となって活躍。
742	〃 14	<u>霧島山噴火</u> 。大隅国大地震。
743	〃 15	墾田永世私財法。
746	〃 18	日向国大暴風雨。養蚕損傷、調庸を免ぜらる。
755	天平勝宝 7	大隅国、菱刈郡を設置。
766	天平神護 2	道鏡法王となる。日・薩・隅大風、桑麻損ず。柵戸の調庸を免ず。
769	神護景雲 3	<u>和氣清麻呂、大隅（牧園町下中津川犬飼）に流さる。</u>
770	宝龜 1	<u>和氣清麻呂配所より召しかえさる。</u>
772	〃 3	中臣習宣阿曾麻呂を大隅守となす。
788	延暦 7	<u>霧島山大噴火（峰下 5.6 里沙石積ること 2 尺……）。</u>
791	〃 10	豊後・日向・大隅など飢饉。
794	〃 13	奈良から京都（平安京）に遷都。
800	〃 19	大隅・薩摩両国百姓の墾田を収め、始めて班田を行う。
815	弘仁 6	薩摩の国、蝗害により田租を免ず。
901	延喜 1	<u>飯富神社創立（961～963 応和年間ともいう）。</u>
945	天慶 8	<u>霧島山噴火（猛火熾んにしてやまず……）。</u>
963	応和 3	性空上人、霧島六社権現を開く。
1021	治安 1	税所篤如、正八幡宮並霧島宮司職に補任さる。
1026	万寿 3	平季基、島津荘を開発する。
1112	天永 3	<u>霧島山噴火（西峰噴火、神社焼けず……）。</u>
1113	永久 1	<u>同 上 社殿焼けず。</u>
1142	康治 1	<u>安楽温泉発見。温泉神社創立。</u>
1162	応保 2	<u>条里制記録に、三体堂田初見。</u>
1167	仁安 2	<u>霧島山噴火（西生寺殿堂焼崩……）。</u>
1185	文治 1	平氏滅亡。島津忠久、島津荘下司職に補任。
1186	〃 2	忠久、地頭職に封ぜらる。 <u>藤原頼頼、用松（持松）15 町を領す（建久中）。</u>
1192	建久 3	頼朝征夷大將軍。幕府創設。
1197	〃 8	薩・隅・日三州凶田帳なる。
1202	建仁 2	<u>八幡神社創立（万膳）。</u>
1219	承久 1	源氏滅亡。承久の頃、横川藤兵衛尉時信横川を領す。
1221	〃 3	承久の変。
1234	文暦 1	<u>霧島山噴火（社寺什宝等焼失す）。</u>
1274	文永 11	蒙古軍来襲（文永の役）。
1276	建治 2	<u>博多湾防備の石築地造築はじまる。持松15尺。上三体堂 6 尺。下三体堂 6 尺。世戸口名13尺造築割当てあり。</u>

# 牧園町郷土誌年表

—線は郷土関係

西暦	年 号	事 項
		縄文時代の土器破片、三体堂・万膳地区の高原地帯から出土している。
57		● 7～8000年位前（早期）の土器 ● 5～6000年位前（前期）の土器 ● 4～5000年位前（中期）の土器 ● 3～4000年位前（後期）の土器 倭奴国、後漢に遣使。 熊襲叛す。
239		日本武尊、川上梟帥を殺す。
412	允恭 1	卑弥呼、魏に遣使。
438		額田部湯座連を薩摩に遣わし隼人を征した。
538		仏教伝来（552）。
585	敏達 14	敏達天皇の殯宮を隼人に守らせる。
645	大化 1	大化改新。
672	天武 1	この年、大隅台明寺がつくられる（国分）。
682	〃 11	隼人上京、方物を貢する。大隅隼人・阿多隼人の天覧相撲で大隅隼人が勝つ。
685	〃 14	天武天皇、畿内隼人の大隅直に忌寸の姓を賜う。
692	持統 6	築紫太宰、河内王に詔して沙門を大隅と阿多に遣わし、仏教を伝えさせた。
699	文武 3	太宰府に三野（宮崎県）、 <u>稲積（牧園）</u> の二城を修築させる。
701	大宝 1	律令制度完成。
702	〃 2	<sup>はやと</sup> 唱吏国内要害の地に柵を建て戍をおく。 薩摩・ <sup>たね</sup> 多嶺両国創置。
710	和銅 3	隼人らに宴を賜い位を授け禄を賜う。平城京遷都。
712	〃 5	「古事記」完成。
713	〃 6	日向国肝付、贈於、大隅、始良の四郡を割き大隅国をおく。
720	養老 4	「日本書紀」最終的にできあがる。隼人叛乱、大隅国守陽侯史麻呂殺さる。大伴旅人、隼人を征討。
723	〃 7	大隅・薩摩二国の隼人 624 人朝貢し、風俗歌舞を奏す。 三世一身法。

しづのおだまき	白尾国柱	金峯町郷土誌	
庚申信仰	平野 実	高山町郷土誌	
カヤカベ	竜谷大学	小浜町史談	
神仏分離史料	辻善之助外	牧園時報	牧園町役場
宗教以前	NHK出版	牧園町振興計画書	同 上
上井覚兼日記	県図書館	牧園町勢要覧	同 上
称名墓誌	歴史図書社	一般時報	前田 済
新七遺稿	有馬新七	文化牧園1～5号	町教育委員会
都日記	同 上	まきぞの40	牧園町役場
島津斉彬公	中村徳五郎		
西郷隆盛全集	村野守次外		
坂本竜馬全集	宮地佐一郎		
坂本竜馬	八尋舜右		
竜馬がゆく	司馬遼太郎		
日本の合戦	高柳光寿		
鹿児島歳時12月	小野重朗		
日本随筆大成	吉川弘文館		
斉藤茂吉全集23			
歌集高千穂	斉藤茂吉		
霧島の歌	与謝野寛		
マウント霧島	山川鉄三郎外		
加治木の太鼓おどり	県立図書館		
鹿児島の民俗探究	鹿児島民俗学会		
鹿児島民俗散歩	小野重朗		
かごしまの方言集	黒木弥千代		
島津家系図	尚古集成館		
薩藩叢書(3)	伊地知茂七		
日本史用語大辞典(1)(2)	柏 書房		
校誌「甲南」	甲南高校		
吉松町郷土誌			
栗野町郷土誌			
横川町郷土誌			
隼人町郷土誌			
霧島町郷土誌			
溝辺町郷土誌			
加治木郷土誌			
国分郷土誌			
志布志町誌			
郡山郷土史			

# ◆牧園町郷土誌

## 参考文献

縄文時代	鎌木義昌	鹿児島県史	鹿児島県
鹿児島県史料（旧記雑録）		西藩野史	得能通昭
三州諸家系図纂	川崎大十	鹿児島県遺跡地図	県教育委員会
薩隅日古戦場記	県図書館	鹿児島県遺跡地名表	同 上
薩隅沿革地図	鹿児島市	大隅国建久図田帳小考	五味克夫
地理纂考	樺山資雄	大隅の御家人について	同 上
薩陽武鑑	鮫島 某	薩摩の古府	藤井重寿
地誌備考和16冊	県図書館	高城国府	同 上
桑原郡地誌備考	同 上	薩摩国衙領考六題	同 上
薩摩銘鑑	同 上	大隅薩摩高城国府	同 上
かごしま古代地名考	平田信芳	鹿児島県埋蔵文化財発掘調査	
薩隅日地理纂考	鹿児島教育会	報告書	県教育委員会
薩摩風土記	県図書館	和気清麻呂	平野邦雄
諸家系図	同 上	平山泰介事蹟	山口雄一・森市介
本藩人物誌	同 上	神話と霧島	窪田仲市郎
和名抄	同 上	鹿児島県災害史	鹿児島測候所
三国名勝図会	山本盛秀	鹿児島県災異誌	鹿児島県
日本書紀	山田秀雄	鹿児島県政党史	薩藩史料調査会
古事記伝の研究		鹿児島県議会要覧	県図書館
熊本県の歴史	森田誠一	鹿児島県町村議員名鑑	同 上
熊襲と隼人	井上辰雄	鹿児島県農業史	鹿児島農学部
隼人の楯	中村明蔵	鹿児島県農業協同組合史	県農協
鹿児島の歴史	県社会科教育研究会	鹿児島県畜産史	中村初枝外
鹿児島県の歴史散歩	県高校歴史部会	鹿児島県神社一覧	県図書館
歴史散歩事典	井上光貞	日本産業史大系	地方史研協
鹿児島県の歴史	原口虎雄	薩隅煙草録	宮本又次外
宮崎県の歴史	日高次吉	日本山林沿革史	桑幡福夫
日本史	井上光貞外	種子島銃	洞 富雄
日本史	宝月圭吾外	虎 狩	島津久通
図説歴史（上）	学習研究社	虎狩物語	同 上
日本国家の起源	井上光貞	朝鮮征伐島津勢虎狩絵巻	村瀬宣得
体系日本史叢書	森本義彰	朝鮮国征伐記拮据抜萃	県図書館
岩波講座日本歴史	岩波書店	戦国島津戦記	松元十九
		地名どくほん	山崎盛隆
		日本の民話	椋 鳩十
		日本の民俗	村田 熙
		神代三山陵	鹿児島県史談会
		薩藩旧伝集	歴史図書館
		本居宣長全集	大野 普

方限……………	219	— ヤ —	
放射性炭素……………	55	役米……………	225
放射性炭素C14法……………	55	邪馬台国……………	69, 71
宝塔……………	192, 193, 194, 196	山上憶良……………	125
火闌降命……………	86	— ユ —	
梵字……………	198	湯ノ谷温泉……………	762
本府……………	245	— ヨ —	
— マ —		横瀬温泉……………	759
まが……………	257	横目……………	216
牧園小学校……………	325	与謝野晶子……………	379, 753
馬込竈穴群……………	13	吉田蘭皐……………	291
松尾城……………	186, 206	— ラ —	
丸尾温泉……………	755, 756	楽浪郡……………	68
丸尾滝……………	8, 9	— ロ —	
万膳……………	222	老人福祉センター……………	592
— ミ —		六曜星……………	685
水原秋桜子……………	753	— ワ —	
溝下見掛……………	224	若山牧水……………	289, 751
溝見廻……………	216	和氣公遺跡碑……………	356
看初城……………	186	和氣公址……………	380
宮地惣右衛門……………	245	和氣神社……………	132, 133, 406, 797
ミヤマキリシマ……………	728	和氣清麻呂	
妙見温泉……………	770	…89, 126, 127, 129, 130, 295, 797, 804	
妙見神社……………	270	和氣の湯……………	133, 775
妙見の湯……………	379		
名頭……………	219, 220		
— ム —			
霧氷……………	20		
無屋敷士……………	224		
— モ —			
用松……………	147, 150, 169, 170, 171		
森市介……………	242, 325		
森家……………	230		
森良邦……………	238		

鉄砲身構秘法……………	236	ノカイドウ……………	729
寺請……………	272, 273	野町……………	227
寺請制度……………	326		
寺田屋騒動……………	301	— ハ —	
天狗……………	293	幕藩体制……………	209, 272
— ト —		杵見廻……………	216
東郷源七郎忠直……………	181, 182	八幡……………	271
東光寺……………	241, 812	はつい……………	260
東郷重位……………	231	八田知紀……………	297
トシツ……………	261	早馬サア……………	266
富尾寺……………	243	林田温泉……………	757, 758
台与……………	71	ハリサン……………	260
虎狩……………	206, 207	— ヒ —	
虎退治……………	640	B&G財団牧園海洋センター……………	721
— ナ —		挽き鋸……………	260
仲川郷……………	120	彦火火出見尊……………	86
中岳……………	743	比志島家……………	222
永田与右衛門……………	238	卑弥呼……………	69, 71, 72
仲ッ川……………	294	百二外城……………	213
中津川……………	222	ヒヤスイ……………	262
永留家……………	194	平山家……………	222
永留氏……………	191, 192, 193, 194	貧窮問答の歌……………	125
永留氏系図……………	192	— フ —	
中野古墳……………	78	福昌寺……………	241
名子……………	219	福永助十郎……………	245
南洲翁宿営地の跡……………	802	仏法僧鳥(ブッボウソウ)……………	253, 739
— ニ —		賦米(賦役米)……………	226
二十四節気……………	686	麓……………	215
二歳咄格式定書……………	223	文化財……………	51
— ネ —		文之……………	239
熱ルミネッセンス法……………	55	— ヘ —	
— ノ —		兵衛察見……………	232
農村婦人の家と生活改善センタ —……………	603	— ホ —	
		宝篋(きょう)印塔 ……………	113, 191, 192, 196, 805



示現流比喻……………	232	石斧……………	57, 61, 63
十干……………	680	セツダ(雪駄)……………	261
地頭……………	215, 217	瀬戸ロ……………	18, 177
地頭仮屋……………	215	瀬戸ロ名……………	177
司馬遼太郎……………	307	世戸ロ名……………	158, 176, 177
島津家略系図……………	199	— ソ —	
島津氏系図……………	143	造士館……………	300
杓取り……………	278	曾我どん墓……………	805
十二支……………	680	— タ —	
襲峯一覧……………	284	太閤検地……………	211
宗門改役……………	215	太鼓踊……………	231
守護代……………	214	大山野……………	224
朱子学……………	238	代米……………	225
常備隊……………	316	台明寺文書……………	107, 109, 116
正福寺……………	85	高尾山寺址……………	133
庄屋……………	216	高千穂の峯……………	15, 742
植樹祭……………	409, 410, 790	高智穂の峯……………	279
白尾国柱……………	284	高松城……………	187
白坂美濃守……………	220	高松塚古墳……………	75
親幸……………	274	竹原田……………	107, 108, 109, 110, 115, 116
真宗の解禁……………	324	堅神社……………	177, 649, 653
真福院……………	272, 812	堅大明神……………	271
新然岳……………	15, 28, 29, 743	田の神講……………	264
新湯……………	320	玉利城……………	187
新湯温泉……………	761	檀那……………	273
— ス —		— チ —	
すき……………	257	秩禄処分……………	323
巢窪田……………	221	中陵漫筆……………	280
— セ —		徴兵令……………	322
生活改善センター……………	605	— ツ —	
世紀……………	73	ツゴドン墓……………	807
成形図説……………	245	津曲兼値……………	221
政要録……………	223	— テ —	
性理の説……………	240	手島森右衛門……………	237
西暦……………	73		
石鏃……………	57, 61		
関平温泉……………	407, 408, 759, 760, 783		

韓国宇豆峯神社	115
韓国岳	4, 13, 744
韓国嶽	115
川上助七久如	217
観光姉妹町	726
雁爪	256
欠米	225

— キ —

魏志倭人伝	69, 72
北原氏系図	178
逆修塔	192, 193, 195
給地高	214
弓道口伝秘法	237
牛馬役	216
清丸	295
霧島温泉	754
霧島神社	811
金印	69

— ク —

区長	347
熊襲穴居跡	805
くまその洞穴	85
組頭	215
蔵入高	224
桑東郷	107, 108, 109, 110, 111, 114, 115, 121, 145, 153
桑西郷	145, 153
久波波良	117, 118
桑原郡	100, 117, 118
郡長	321, 339

— ケ —

桂庵	239
元寇防塁	158
ケンジ(床献酬)	259
玄積和尚	241
玄龍寺	243

— コ —

郷校	325
郷土	217
郷土年寄	215
公定師格	324
郡奉行	215
郡見廻	216
黒曜石	61
戸長制	319

— サ —

西郷	337
西郷隆盛	240, 325, 329
税所家	167
税所祠	174
斉藤茂吉	381, 751
坂本龍馬	307, 772
薩藩画人伝	245
薩藩政要録	222
薩藩名勝考	297
薩摩見聞記	303
さつま寺	276
薩摩樟脳	251
薩摩府学板	298
土踊	231
三角堂(さんかく堂)	270, 811
三国名勝図会	16, 91, 100, 166, 167, 174, 178
三合米	226
三鉢堂	270

— シ —

塩浸温泉	307, 766
地固め歌	259
宿窪田	221
自顕流	231
示現流	231
示現流次第秘法	232

## ◆牧園町郷土誌索引

## — ア —

赤靱	256
葦上村	109, 114, 115
畦地観音	295
暖(あつかい)	215, 222
天降川	8, 18
有田川	18
有馬新七	301
荒田	268
安楽の温泉	219, 770

## — イ —

飯富神社	112, 113, 114, 270, 649, 650, 791
硫黄谷温泉	286, 758
伊邪那岐神社	172, 793
伊集院氏	222
板碑	197, 198
一門家	214
一りん坊	291
一所持	214, 215
伊東草臣	303
稲積翁	91, 132, 133, 134, 804
稲積郷	91, 118, 120, 121
稲積城	88, 91, 120, 121
稲富流	235
犬飼滝	8, 268, 295, 774
用夫のがれ	219
いぼ地蔵	269
壱与	71
いろは歌	239
祝橋	86

## — ウ —

うえ木高	226
浮免	224

梅北	220
上井寛兼	295
運脚	98

## — エ —

額娃家	222
永作	224
栄之尾温泉	286, 757, 758
可愛峽の湯	245

## — オ —

オイツサマの墓	809
甌穴群	775
小碓城	85
大浪池	6, 13, 745, 748
大庭正庵	238
踊	172, 183, 188, 189, 190, 191
踊川	18
踊郷	18, 86, 91, 120
踊城	166, 167, 183, 184, 806
御鉢	741
飢肥	211
折橋温泉	771
温泉神社	795

## — カ —

海音寺潮五郎	752
貝塚	50
抱地	224
笠取戦跡	803
笠取峠	338
刈敷	255
カタメスタダイ	262
河伯祭(まつり)	131, 295
カデモン	262
門	214, 219, 226
門付山	250
家部	219
亀鶴城	186

# 牧園町郷土誌

昭和五十六年七月二十日 印刷  
昭和五十六年八月一日 発行 (非売品)

編集者 牧園町郷土誌編さん委員会

発行者 牧園町長 今別府 望

印刷所 第一法規出版株式会社

九州支社 福岡市中央区大手門三丁五一四

(TEL)〇九二(七四)六〇〇六







